

Welなかがわ

ウェル

WelはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第85号

発行/2021.9



公開プレゼンテーションによる審査会を開催しました!

「地域の底力を応援」助成事業の審査会を、7月19日(月)に中川区役所講堂で、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら開催しました。

この事業は、中川区で活動しているボランティアグループ、サロン・サークル活動にはどのようなものがあるか、お互い出会い・知り合う機会を作ること、また財源としている賛助会費・共同募金など寄付をしていただいた方々に、使いみちを知ってもらうことを目的として行っています。



助成には、地域が抱える福祉課題を解決するための発展的な事業を対象にした「はばたき事業助成」と、地域福祉活動に対する「ささえあい活動助成」の2種類があり、今年度19件の申し込みをいただきました。当日は申請団体によるプレゼンテーションと審査が行われました。助成金交付決定団体は以下のとおりです。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は参加団体同士の活動紹介等をする交流会を中止させていただきました。

助成金交付決定団体

はばたき事業助成

NPO いこまい会

サロン

くつろぎ茶話会・サロンたかばた運営委員会
チューブ体操 健康サロン
打出荘ふれあいサロン
ひだまりサロン
にこにこサロン・1日サロン憩デー
みなと医療生活協同組合 荒子東支部

ささえあい活動助成

サークル

多胎児子育てサークル ひまわりキッズ
中川フレンズ
手話サークル春の会

非営利活動団体

特定非営利活動法人 えがお咲く丘
(なないろさぽーと・アフタースクールクラブ)
勝笑演芸一座



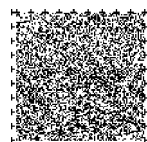
ボランティアグループ

江松ひまわり会
クローバークラブ
音訳ボランティア 櫻の会
子育て支援グループ じゃんけんぽん
傾聴ボランティア みみちゃん

今号の内容



公開プレゼン審査会 報告	1	高齢者はつらつ長寿推進事業～みつば会～	3
共同募金(お知らせ)/使途について	2	災害関連記事(避難について)	4
応援団ボランティア 活動紹介&メンバー募集	2	令和2年度収支決算	4
第4次地域福祉活動計画ニュース	3	寄付のお礼	4



SPコードを載せました。

赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

10月1日～ じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金 がはじまります!

12月1日からは、歳末たすけあい募金もあわせて行われます

共同募金は10月1日から全国一斉に行われる募金活動で、住民の皆さまの自発的なたすけあいの精神に支えられた民間の福祉活動を支援するための募金です。

中川区で集められた募金は、主に中川区の福祉のために役立てられます。

また、大規模な災害が起こったときの備えとして、募金額の一部が愛知県共同募金会で積み立てられます。

令和2年度の募金総額

9,466,819円

共同募金は、翌年度の使いみちの計画をたて、募金を募る仕組みです。よりよい地域づくりのために、みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。

インターネットで詳しい共同募金の使いみちを見ることができます。
赤い羽根データベース『はねっと』
<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home>

令和3年度 目標額

10,133,000円



『赤い羽根協賛 児童生徒作品コンクール』



共同募金運動の一環として、小中学生を対象とした書道、ポスターの作品コンクールが行われます。優秀作品を、下記の日程で展示予定です。

10月8日(金)～10月12日(火)	NHK名古屋放送センタービル1階プラザウェーブ21で展示(愛知県共同募金会入賞作品のみ)
10月19日(火)～10月28日(木)	中川区在宅サービスセンター
11月1日(月)～11月12日(金)	中川区役所
11月17日(水)～11月30日(火)	富田支所



地域の応援団ボランティア活動中!

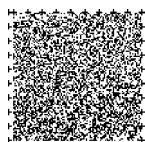


「地域の応援団ボランティア」とは、誰もが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを進めるため、平成26年度から5年間を対象とした「第3次中川区地域福祉活動計画」から発足したボランティアグループです。生活の中のちょっとした困り事や、不便に感じることのお手伝いをして、住み慣れた地域での暮らしを応援することを目的としています。部屋の片づけ、掃除、粗大ごみの搬出、庭の草刈りなどの生活支援を主に活動をしています。

毎月第3木曜日に中川区在宅サービスセンターで定例会を行い、活動報告や活動依頼の実施可否の検討をしております。資格やボランティア経験のない方でも、ご自身の特技を活かして活動をしていただけます。応援団ボランティアへのご依頼や、ボランティア活動にご興味のある方は、中川区社会福祉協議会までお気軽にお問い合わせください。

活動者の想い

地域の応援団ボランティアは、手作業が得意な人であれば修繕や掃除、力仕事があれば家具の移動やゴミの搬出など、ひとりひとりが得意なことを活かしてボランティア活動をしています。困っている人を地域で助け支えあい、繋がりができたらと思っています。



タンスの運搬



エアコンのフィルターの掃除



第4次中川区地域福祉活動計画ニュース

推進委員会



例年、年2回開催していた推進委員会ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大により、書面開催となっていたため、推進委員が一同に会する推進委員会としては1年半ぶり、久しぶりに顔を合わせることができました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、様々な制約を経験したからこそ、今後の地域づくり・つながりづくりに何が必要なのか意見交換の機会を設けました。「より小さなコミュニティでの活動」や、「つながりを途切れさせないために、連絡手段を選択できるようにすることが必要」などの意見が多く出され、今後は『できることから何か始める』ことが大切であると、委員の皆さんと共有する機会となりました。



オープンカフェ@豊成団地



豊成団地には町内会がなく、住み始めて2年以上経っても横のつながりが持てないため、住民同士が交流できる機会が作れないかとお相談いただき、屋外でゆるやかにつながる場所づくりとして取り組んでいるオープンカフェを、住民の方と一緒に実施しました。健康チェック、多言語読み聞かせ、簡単スマホ相談など、団地のニーズに合わせた企画をワーキンググループのメンバーと検討し、関係機関の皆さんにも協力いただきました。

当日は、親子やお年寄り、外国の方も参加され、住民の同士がつながるきっかけになりました。



多言語読み聞かせ



簡単スマホ相談



健康チェック

みつば会

コロナ禍における取り組み

名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業

みつば会は、中川区16会場を拠点に高齢者のつどいの場として介護予防や仲間づくりを目的に実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会場での事業実施を中止している期間中、自宅でも取り組める脳トレプリントの送付やはつらつ川柳の募集など様々な企画を行ってきました。



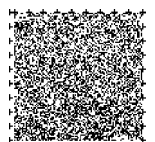
久々の再会に会話も弾みます

また、参加者同士で顔を合わせることができなく、「外出する機会がない」「皆さんに会いたい」などの声が多く寄せられたため、外出のきっかけづくりとして実施会場に、取り組んでいたプリントを持参していただき、生活にお困りの方への社会貢献として手つかずの食品を寄付する「みつば会フードドライブ」を企画しました。

久しぶりに顔を見合わせた参加者からは「元気だった?」「久々に外出した」などと喜びの声が寄せられました。



いただいた食材は特定非営利活動法人セカンドハーベスト、名古屋市仕事・自立サポートセンター名駅・金山へ寄付しました



9月は防災月間!

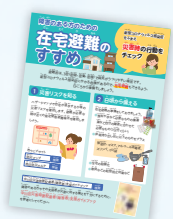
令和3年5月20日から、
避難に関する情報が変わりました!

危険な場所にいるとき、避難に時間のかかる高齢者や障害のある方は警戒レベル3「高齢者等避難」で避難します。上記以外の方は、警戒レベル4「避難指示」で避難します。避難施設への避難だけでなく、浸水など危険がない自宅上階などで、身の安全を確保することも避難の一つです。

中川区障害者自立支援協議会では、平成31年3月に「災害時要配慮者（障害者）支援ガイドブック」を作成しました。掲載されている避難所マップ等へ書き込みすることで「私の防災ノート」としてご活用いただけるようにしています。



【URL】<https://www.city.nagoya.jp/nakagawa/page/0000116752.html>



避難所は、3密（密閉、密集、密接）で病気がうつりやすい場所とも言われ、新型コロナウイルス感染症の拡大も心配されることから、令和3年3月に「障害のある方のための在宅避難のすすめ」を発行しました。

【URL】<https://www.city.nagoya.jp/nakagawa/page/0000141817.html>

いずれも、中川区障害者基幹相談支援センター・区役所福祉課で配架しております。



<警戒レベル4までに必ず避難！>

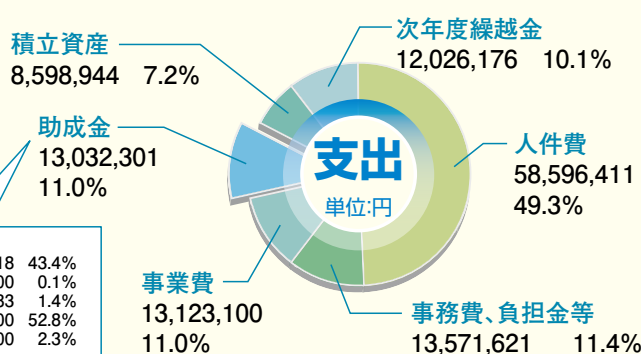
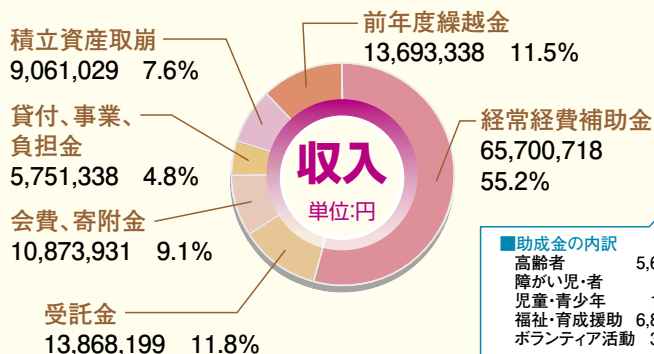


(名古屋市防災危機管理局チラシ抜粋)

中川区社会福祉協議会 令和2年度 収支決算

収入合計 118,948,553円

支出合計 118,948,553円



助成金の内訳

助成金項目	金額	割合
高齢者	5,658,318	43.4%
障がい児・者	20,000	0.1%
児童・青少年	178,983	1.4%
福祉・育成援助	6,875,000	52.8%
ボランティア活動	300,000	2.3%

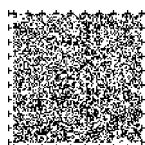
寄付のお礼

寄付金および寄付物品は、中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

(令和3年5月~7月)



- 名古屋ヤクルト販売株式会社 様
- 真宗大谷派 稱圓寺 様
- 浦野莉乃 様



〈事業者の皆さまへ〉

社会貢献の一環として、寄付金その他、地域のイベント等で使用させていただく物品やお菓子のご寄付も募っています。ご関心のある事業者の皆さま、ご連絡お待ちしております。

編集・発行

社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0875 名古屋市中川区小城町1丁目1-20(中川区在宅サービスセンター内)

TEL (052) 352-8257

FAX (052) 352-3825

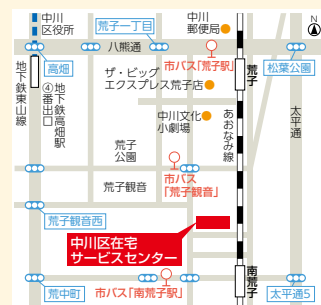
メールアドレス

nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ

<http://www.nakagawashakyo.jp>

区内のイベントやボランティア情報案内、研修室の貸出などを行っています。お気軽にお問い合わせください!



=この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました=

※Welなかがわ(年4回)の定期購読や音訳版・点訳版をご希望の方は本会までご連絡ください。